

令和3年度(2021年度)



令和3年(2021年)3月  
発行 練馬区地域文化部協働推進課  
電話 03-5984-1613  
編集 工コレポ 三浦あい

本冊子には、音声コードがついています。音声コードとは、紙に記載された情報をデジタルに変える二次元シンボルです。紙に印刷されている音声コードを読み取ることで、記載されている情報を音声で聞くことができます。位置を分かりやすくするために、ページの端に切りかきを付けてあります。

区民協働交流センターでは、  
区内地域活動の情報を配信中!  
気軽に「フォロー」「いいね」をお願いします!



▲フェイスブック

フェイスブック <https://www.facebook.com/Nerimakyodokoryucenter/>  
ツイッター [https://twitter.com/kyodo\\_nerima](https://twitter.com/kyodo_nerima)  
ホームページ <http://www.nerima-kyodo.com/>

# まちとつながる わたしのが見つかる

地域で活動を始めたいと思う人が集い、  
学びやスキルアップ、地域とのつながりができる場



・・・ I 地域で活動するということ・・・

# まちとつながるわたし

令和3年度のつながるカレッジなりま

「つなカレ」は、地域に関わる様々な学習分野で、活動に役立つ知識やスキルを学ぶ、実際の活動につながる、場所です。

地域で活動を始める際は、「つなカレ」がバックアップします。

このたび、「公開講座」として地域活動のヒントとなる身近なテーマの講義を開催することにしました。通年で受講することが難しい方でも、興味のあるテーマを選んで参加することができます。

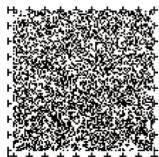
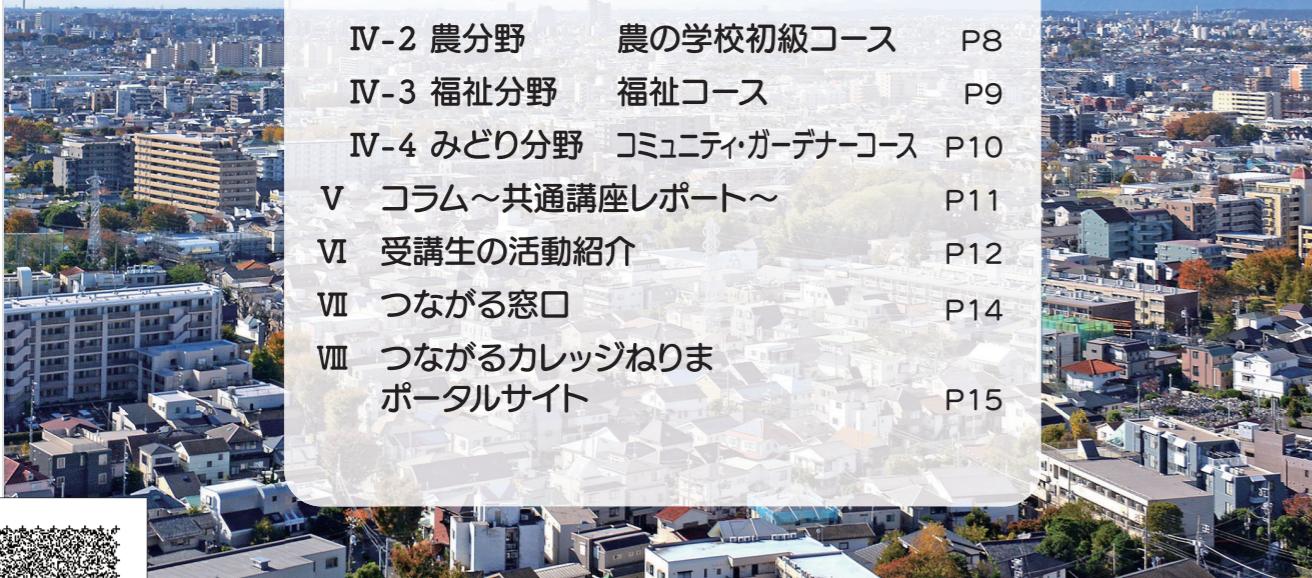
令和2年秋に船出した「つなカレ」。その後も新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、令和3年度の受講生募集は、一部の分野に限定して行うことになりました。

しかし、「つなカレ」の歩みを止めることはできません。

感染防止対策はもちろんのこと、オンラインを取り入れ、バージョンアップします。

「つなカレ」で、“まち”について学び、まちで暮らす人とかかわり、つながっていく中で、“わたし”がやりたいこと、できることを見つけてみませんか？

I 地域で活動するということ	P3
II 公開講座	P4
III つなカレ受講生カリキュラム	P5
IV 学習分野の紹介	
IV-1 防災分野 共助コース	P6
IV-2 農分野 農の学校初級コース	P8
IV-3 福祉分野 福祉コース	P9
IV-4 みどり分野 コミュニティガーデナーコース	P10
V コラム～共通講座レポート～	P11
VI 受講生の活動紹介	P12
VII つながる窓口	P14
VIII つながるカレッジなりま ポータルサイト	P15



南大泉4丁目第一町会※1会長  
元気アッププログラム※2代表  
おかもとけいこ  
**岡本 敬子さん**

南大泉4丁目第一町会長を務めつつ、カレッジ卒業生と共に地域福祉団体を設立。介護予防体操等の指導も行っている。

※1 白子川が流れ、近くに井頭憩いの森があるなど、緑地の多い静かな住宅街。加入世帯は377世帯。(令和2年7月1日時点)

※2 令和2年6月に大泉学園駅南口の井頭商店街の一角に立ち上げた健康サロン。

**Q 町会での日頃の活動について教えてください**

いつまでも住み続けたい安心安全な地域づくりを念頭に、会社員・子育て世代・リタイア後の方など、様々な年代の役員が楽しみながらできる範囲の活動をしています。コロナ禍でも工夫してイベントができないかと話し合い開催した「町内会ウォーカラリー」は、とても好評でした。

**Q 町会の活動をするうえで、大切にしていることはありますか**

「情けは人の為ならず」という言葉を大切にしています。現在の活動での様々な発見、出会いが本当にありがたく思え、私の財産になっています。この財産は決してなくなりません。町会の活動のみならず、地域活動は自身の人生に直結していくと思っています。



▲防災井戸を巡るウォーカラリーの手作り地図

**Q 岡本さんは一方で地域活動も行っています。  
活動にあたり町会との関わりはありますか。**

情報の共有という点で関わりを持っています。町会という組織は、住民の声が直接聞こえてきます。「今、地域で何が必要なのか。どんな困りごとが起きているのか。」その声に応えたく現在の活動を始めました。

地域福祉という観点では、町会も「元気アッププログラム」も一緒にです。今後も町会と連携して地域の声を聞いていたらと思います。

**Q 活動を始めた動機や理由を教えてください**

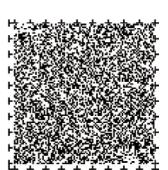
カレッジ卒業後、地域福祉に関わるなかで、老後の健康と生活に不安を感じる人が多いと知り、高齢になってもこの地域で安心して住み続けられるように、気軽に通える場所があるといいなと思いこの拠点をつくりました。

**Q これから地域で活動を始める人へのメッセージ**

自分の興味があること、得意なことを明確にして、活動につなげてほしいです。やってみることで、自分もさらにステップアップできますよ。



▲元気アッププログラムの皆さん



※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、講座などを中止、変更する場合があります。最新の情報はポータルサイトでご案内します。

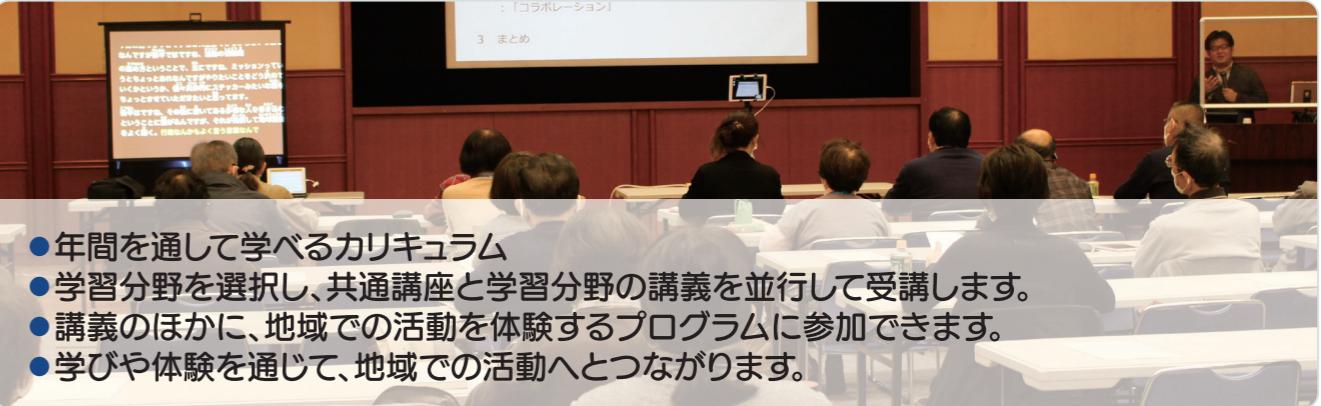
## … II NEW 公開講座 …

オンライン



活動を始めたいと考えている方に向けて、つながるカリキュラムの中から活動のヒントとなる講義を公開します。  
 ●興味のある講義を選んで参加することができます。  
 ●YouTubeやZoomにより、オンラインで実施します。

## … III つながるカリキュラム …



- 年間を通して学べるカリキュラム
- 学習分野を選択し、共通講座と学習分野の講義を並行して受講します。
- 講義のほかに、地域での活動を体験するプログラムに参加できます。
- 学びや体験を通じて、地域での活動へつながります。

### 公開講座ラインナップ

ねりま区報  
ポータルサイトで  
順次募集!!

#### つながる 全般 令和3年5月 地域活動とコミュニケーション

##### 防災 令和3年5月 災害から自分と家族の命を守るために

##### 防災 令和3年8月 避難拠点とは



##### 全般 令和3年9月 地域社会における町会・自治会

##### 防災 令和3年10月 災害時のボランティア活動

##### 全般 令和3年11月 地域活動の実践と展開

##### 全般 時期未定 マーケティングの基礎知識



##### 福祉 時期未定 がんとともに生きる



##### 福祉 時期未定 新たな福祉課題への対応

##### 福祉 時期未定 終末期の生活

※ 詳細は、決まり次第、ねりま区報、ポータルサイトなどでご案内します。 ※ ラインナップは今後変更することがあります。

### 共通講座

会場  
オンライン

#### 第1回 令和3年5月 地域活動とコミュニケーション

#### 第2回 令和3年9月 地域社会における町会・自治会

#### 第3回 令和3年11月 地域活動の実践と展開

#### 地域活動体験プログラム

- 町会や避難拠点の活動を体験できる
- 活動に触れ、自身の活動をイメージできる

過去の例 ▶町会ウォークラリー  
▶避難拠点訓練

### 学習分野

会場



#### 防災 共助コース

P.6



#### 農業の学校初級コース 農の学校初級コース

P.8



#### 福祉 福祉コース

P.9



#### みどり コミュニティ・ガーデナーコース

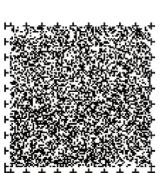
P.10

※ 環境分野の講義は休止しています。

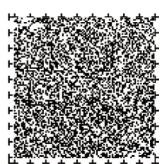
活動に役立つメニュー つながる窓口 P.14



修了 それぞれの活動へ P.12 P.13



地域で活動してみたいと思ったら、つながる窓口 (P.14) へ



## IV 学習分野の紹介

### IV-1 防災分野 共助コース



地域における防災活動の担い手となることを志す方を対象に区民防災組織の活動などを学び、発災時に共助活動ができるようになることを目指す講座です。

※避難拠点運営連絡会や防災会等をいう。

#### 受講要件

区内在住・在勤・在学の方で、修了後、区民防災組織等の一員として活動を希望する方  
※既に区民防災組織で活動されている方は、区民防災組織向けカリキュラム(P.7)をお申込みください。

#### 申込受付期間など

- 受付期間 令和3年3月21日(日)～  
令和3年4月20日(火)
- 定員 20名(書類選考、5月上旬頃結果通知)

#### 申込方法

- ポータルサイトまたは郵送、FAX、窓口
- 必要事項①住所②氏名③生年月日④電話番号⑤Eメールアドレス⑥志望動機(200字程度)⑦その他(区外在住の場合は勤務先・学校名)

#### 修業期間・講義日数

- 修業期間 令和3年5月～令和3年12月
- 講義日数等 全8日 午前9時30分から 2時間程度  
主に第4土曜日

#### 修了要件

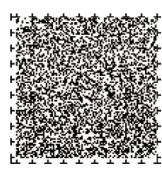
- 6日以上の出席

#### 受講生負担額

- 無料

#### 会場

- 防災学習センター(光が丘6-4-1)



問合せ先 防災学習センター TEL:03-5997-6471 FAX:03-5997-6472

このほか防災学習センターでは、さまざまな講座を実施しています。  
各講座の申込みは、ねりま区報やホームページでお知らせします。

#### 自助クラス

大地震発生時の行動や、日ごろの備え、帰宅困難者対策や風水害について学ぶ講座です。

#### 受講要件

- 区内在住・在勤・在学の方

#### 申込受付時期

- 令和3年4月～5月頃(前期)  
令和3年9月頃(後期) 予定

#### 修業期間・講義日数

- 修業期間 令和3年5月～6月頃(前期)  
令和3年10月頃(後期)
- 講義日数 各コース前期・後期の2期実施  
平日・夜間コース:2時間×4日間  
週末コース:4時間×2日間

#### 学習内容

建物の耐震化や家具の転倒防止対策、日頃からの備えなどを学びます。また、近年多発しているゲリラ豪雨等の風水害対策についても学びます。

#### その他のカリキュラム

- 女性防災リーダー育成講座
- 中学生向けカリキュラム
- 中高層住宅向け防災講習会
- 小学生向けカリキュラム

#### 区民防災組織向けカリキュラム

防災分野における最新の知識を学ぶとともに、組織運営にかかる手法を習得する講座です。

#### 受講要件

- 区内在住・在勤・在学で区民防災組織にて活動されている方

#### 申込受付時期

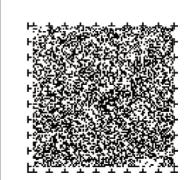
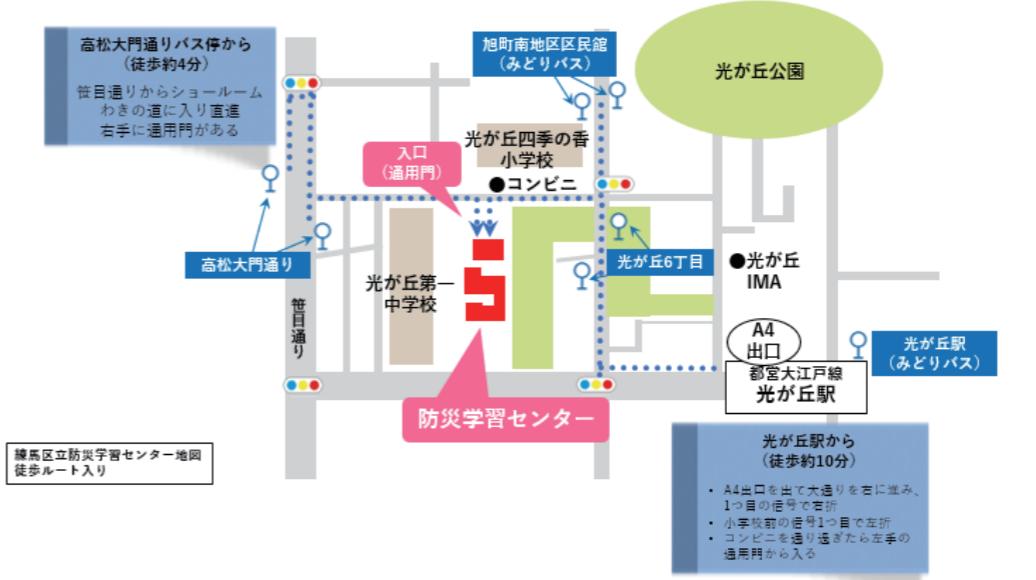
- 令和3年6月頃(前期)  
令和3年10月頃(後期) 予定

#### 修業期間・講義日数

- 修業期間 令和3年7月頃(前期)  
令和3年11月頃(後期)
- 講義日数 平日コース:2時間×3日間  
週末コース:6時間×1日間

#### 学習内容

地域における災害発生時の状況をイメージし、その対応に必要な知識と技術を学びます。



## ・・・ IV-2 農分野 農の学校初級コース ・・・



農の学校は、農家を支援するための「ねりま農サポーター」を育成し、支え手を必要とする区内農業者とのマッチングを行っています。支え手を志す方を対象に、必要な知識・技術を習得することを目指す講座です。

### 受講要件

- 初級コース:区内在住の18歳以上の方 ※選考あり
- 中級コース:初級コースを修了した方
- 上級コース:中級コースを修了した方

### 申込受付期間など

新規受講生の申込みは終了しています。  
※次回の募集は、令和3年12月頃予定。

### 修業期間・講義日数

- 修業期間 1年間
- 講義日数等 土日祝日20日間程度(各半日程度)

### 修了要件

受講すべき日の8割以上の出席

### 受講生負担額

初級コース:10,000円(教材費等)

### 会 場

練馬区農の学校(高松1-35-2)ほか

### 学習内容

農作業の支援に必要な基礎知識および作業手順の習得と都市農業および農地への理解を通じて、農業者の支え手としての心得を学びます。

- 農作物の栽培方法や収穫方法の実践
- 栽培の知識や練馬の農業についての講習
- ほ場見学、農家での実習

### 受講後の活動例

- ねりま農サポーターの活動例
- 区内農業者への援農活動  
(作付・収穫・除草・出荷準備など)
- 区が実施する農業振興事業への従事協力  
(酪農体験事業・収穫体験事業など)

### 受 講生の声

- 野菜が実る一端を垣間見る有意義な時間をいただき参加して本当によかったです。いつも見慣れている区の農の風景が貴重なものだと気づきました。
- 先生の農場を見学させていただいたことは大変有意義な体験でした。農への興味をさらに掻き立てられ、ボランティア等でお役に立てる日がくることを願っています。

このほか、農の学校にはつぎの講座があります。

### 「農とのふれあい・体験コース」

#### 受講要件

練馬区在住の15歳以下を含む2~4名のグループ

#### 申込受付期間など

- ・春夏コース:終了しています。  
※次回の募集は、令和3年12月頃予定。
- ・秋冬コース:令和3年6月頃(10組)  
各講座の申込みは、ねりま区報やホームページ、ポータルサイトでお知らせします。

## ・・・ IV-3 福祉分野 福祉コース ・・・



地域活動の担い手となることを志す方を対象に、地域福祉に関する知識・技術を幅広く学び、自ら活動を始めることを目指す講座です。

### 受講要件

区内在住、在勤、在学の方で、福祉(障害・高齢・子育て等)に関する地域活動をしたい方

### 申込受付期間など

令和3年度の募集はありません。

### 修業期間・講義日数

- 修業期間 最大2年間
- 講義日数等 平日28日(1日3時間程度)  
※その他個人面談あり

### 修了要件

受講生の意欲や達成度などを評価し、一定の基準に達した学生に対し、修了の認定をします。

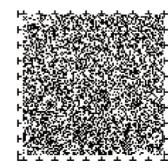
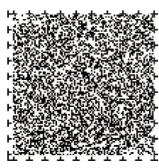
### 受講生負担額

年間15,000円(資料代)



問合せ先 福祉部管理課ひと・まちづくり推進係

TEL:03-5984-1296 FAX:03-5984-1214



## ・・ IV-4 みどり分野 コミュニティ・ガーデナーコース ・・



公園や駅前の花壇づくりに参加して  
花とみどりでまちを彩ろう!

座学、実習、ワークショップを交えて、  
草花の基礎知識、植栽デザイン、  
グループ活動のコツなど、  
「いつもきれいで楽ちん、楽しい」  
コミュニティ・ガーデニングに必要な  
知識と技術を学ぶ講座です。

### ■ 受講要件

区内在住・在勤・在学の18歳以上の方で、  
「みどりのボランティア活動に関心のある方」  
「園芸の知識を学んで地域活動を始めたい方」

### ■ 申込受付期間など

令和3年度の募集はありません。

### ■ 修業期間・講義日数

#### ●修業期間 2年間

#### ●講義日数等

1年目／6日 2年目／12日  
(令和2・3年度)原則 第3木曜日9:30~12:30

### ■ 修了要件

全18日のうち、7割程度の出席

### ■ 受講生負担額

5,500円(2年分。テキスト・エプロン代)

### ■ 会場

四季の香ローズガーデン(光が丘5-2-6)ほか

### ■ 受講生の声

- 花の知識をきちんと学ぶのは初めてです。これからの講座が楽しみです。
- 草花の事は知っているつもりでしたが、新しい発見ばかりで、みどりの奥深さを改めて感じています。回を重ねるごとに仲間との関係性が築けるので、毎回の講義が待ち遠しいです。

### ■ 学習内容【参考:令和2年度~3年度】

《ガーデニングの知識について》  
季節のテーマ決め、ガーデンのデザイン、土づくり、  
植栽ワーク など  
《地域活動の体制づくりについて》  
ガーデニング活動の体制づくり、地域花壇活動団体  
との交流会、卒業後の活動イメージづくり など

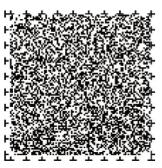
#### 【講師】

三浦 香澄 NPO法人Green Works  
(グリーンアドバイザー園芸ソムリエ)  
西尾 春美 NPO法人Green Works  
矢口 直生 NPO法人NPO birth  
(グリーンアドバイザー園芸ソムリエ  
公園管理運営士)

### ■ 受講後の活動例

公園や駅前の花壇づくりに取り組んでいる団体  
への参加

問合せ先 みどり推進課協働係 TEL:03-5984-2418 FAX:03-5984-1227  
学習内容に関することは、みどりのまちづくりセンター TEL:03-3993-5451



## V コラム

### ～共通講座レポート～

令和2年度に開催した共通講座から、  
『地域活動とコミュニケーション』の  
講義を紹介します。



### 講義 レポート

"地域活動"という言葉を  
初めて聞く人にも理解しやすい  
入門的な内容となっています。

### ■ 地域活動ってなんだろう

まず、地域活動とそれ以外の活動ー例えば会社や、  
社会福祉の活動ーを比較し、地域活動の特徴を考え  
てみます。

### ■ 地域活動の特徴

浮かび上がってきた特徴は、つぎのようなもの。  
「目的が自由で多様」「ターゲットが自分(や自分たち  
の地域)」「多様な人々がかかわりあう」

### ■ 地域活動とコミュニケーション

続いて、地域活動の特徴を踏まえ、コミュニケーション  
のあり方を探ります。  
導き出されたのは、  
「目的は一つだけに限らず、思い込みや価値観に縛  
られずわかれ合う」  
「相手を否定するのではなく、違いをわかり合う」  
「自分が当事者であり受益者。こうあるべきと相手を  
束縛するのではなく、自分たちがどうしたいか語り合  
う」  
「個人史、世代など人それぞれの個�性を尊重し、認  
め合う」といったあり方。



講師 志寒 浩二(しかん こうじ)さん

認知症高齢者グループホームミニケアホー  
ムきみさんちの管理者を務めながら、関町・  
石神井地区で認知症の方とそのご家族を  
支援する団体「おたがいさまの会」を立上げ  
活動されています。

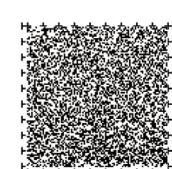
### ■ 自己実現とその先にあるもの

自分の人生はかけがえのない資源であり、それを  
生かした自分らしさの表現の場、自己実現の場と  
して地域活動を捉えることができる。  
さらにその先には、自己の利益を超えた可能  
性が開かれているのではないか、という問いかけで  
講義は締めくくられます。

### ■ 受講生の声

- 地域活動に参加するときの考え方、  
気持ちの持ち方に納得できた。
- 「YouではなくWe」「べき」志向から  
の脱却という考え方が大変参考になつた。

- 団体に入っているが、講義の話につながることが多  
いと気づいた。今後活動する上で重要なヒントを  
いただいた。
- 自分がどう地域と関わりを作ったらよいかわから  
ず、つながりに参加したが、その不安な気持ちが消  
えていくようないいお話を聞けてよかったです。



## ・・・ VI 受講生 の活動紹介 ・・・

カレッジを受講して、皆さんができるように 地域で活動しているのかご紹介します。



### 練馬囲碁ボール

たけうち せんじ  
代表 竹内 善治 さん  
たけうち りつこ  
竹内 律子 さん

令和元年5月に団体設立。  
イベントで体験会を開催したり、毎月第2・4金曜の18時から  
区立施設で練習をしている。現在会員は17名。



▲縦・横・斜めにボールを並べます

#### Q 囲碁ボールとはどのような競技ですか

兵庫県柏原町で始まった、ゲートボールと五目並べを組み合わせたような競技です。碁盤に見立てた人工の専用マット(縦5m、横2m)の上に、ゲートボール用のものと同じ形状の木製スティックを用いて、ボールを並べるスポーツです。ゲートボールの室内版と捉えられますが、白と黒の球を使用するので、見た目は囲碁です。

#### Q 囲碁ボールの魅力を教えてください

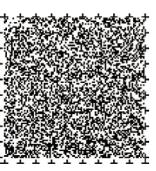
年齢や性別、体力を問わず、誰でも楽しめるスポーツです。また、単に上手い下手だけでなく、相手のボールが並ぶのを防ぐため、手前のボールを狙ってはじいたり、頭脳戦であるのも魅力です。

#### Q 地域で活動を始めた動機やきっかけを教えてください

仕事中心の生活で、地域のことを全く知らなかつたと気付き、夫婦でカレッジに参加することにしました。そして、地域福祉の学びの中で囲碁ボールを知り、活動を始めました。



▲スポーツフェスティバルの様子



#### Q カレッジを受講して得たものがありますか

囲碁ボールに出会えたことです。そして、団体をつくることは簡単ではありませんが、カレッジの仲間から、「ぜひやった方がいい」と心強い後押しをもらえたことです。都内で初めて囲碁ボールの団体を立ち上げるため、他県へ見学にも行きました。

#### Q 今後の目標を教えてください

福祉施設や区に協力をしてもらい、地域の高齢者・子供・身障者などに囲碁ボールの楽しさ・面白さを知ってもらいたいです。また、各地域でチームを編成し、練馬大会を開催したいです。

#### Q これから受講を考えている人へのメッセージ

地域福祉の現況をその分野の専門家から、データと共に学べることは「私にも何かできる」と希望・意欲も湧いてきます。興味や疑問を持ったら、カレッジ同期の仲間の力も借り、様々な機関の支援を受け、サークルや事業化もできますので、ぜひチャレンジしてください。



### ハッピーエンディングプランナー

にしおか やすし  
西岡 恭史 さん

平成29年にSEとして勤めていたソフトウェア企業を退社。現在は、会社時代に培ったITのスキルを活かして、様々な高齢者向けの支援サービス等を行っている。

- ホームページ <https://anshin-shuukatsu.com>
- メール y-nishi@yn-net.com

#### Q 現在の主な活動を教えてください

楽膳倶楽部における練馬終活協働チームに関わるほか、Happy Endingカード(※1)体験セミナー、デジタル終活(※2)セミナー、パソコン・スマホ相談をやっています。  
また、Code for Nerima、練馬177地域ITリーダーの会、練馬ばそばらんでのサポートー、民生・児童委員も務めています。

#### ※1 Happy Endingカード

日本Happy Ending協会が提供しているカード。49枚のカードで各カテゴリに対する不安や人生のリスクをゲーム感覚で確認できる。



※2デジタル終活  
パソコンやスマホ等のデータについて、死後、遺族が困らないよう予めその扱いを考える活動。



▲Happy Endingカード体験セミナーの様子



▲パソコン・スマート教室の様子

#### Q コロナ禍ではどのような活動をしていましたか

団地管理組合や光が丘地区連合協議会のZoom導入支援をやってきました。また、カレッジ同期のZoom交流会を主催、簡単なマニュアルを作るなどサポートしたところ、大半が参加してくれました。

#### Q 活動は多岐にわたりますが、どのようにして広がっていましたか

自ら足で稼いで開拓したものもありますが、パソコン・スマホ相談は、元は自分の住む団地でやっていた活動が隣の団地へさらにその隣へと口コミで広がりました。また、カレッジ同期や先輩との出会いから活動につながったものも多いです。

#### Q カレッジを受講して得たものがありますか

障害のある方やお年寄りにパソコンの使い方を教えるとき、何が分からないのか個々の相手の立場に立って接することができることです。これは会社員時代にはできなかったことで、カレッジで学んでできるようになりました。

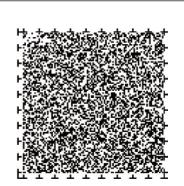
#### Q 今後の目標を教えてください

今後、光が丘地区で高齢者の孤立防止を目的としたパソコン・スマート相談を展開しようとカレッジの先輩たちとともに準備を進めています。

現在の活動はITの知識を使った相談が主ですが、将来的には、IT技術で高齢者の見守りなど福祉の向上に貢献したいという思いがあります。

#### Q これから受講を考えている人へのメッセージ

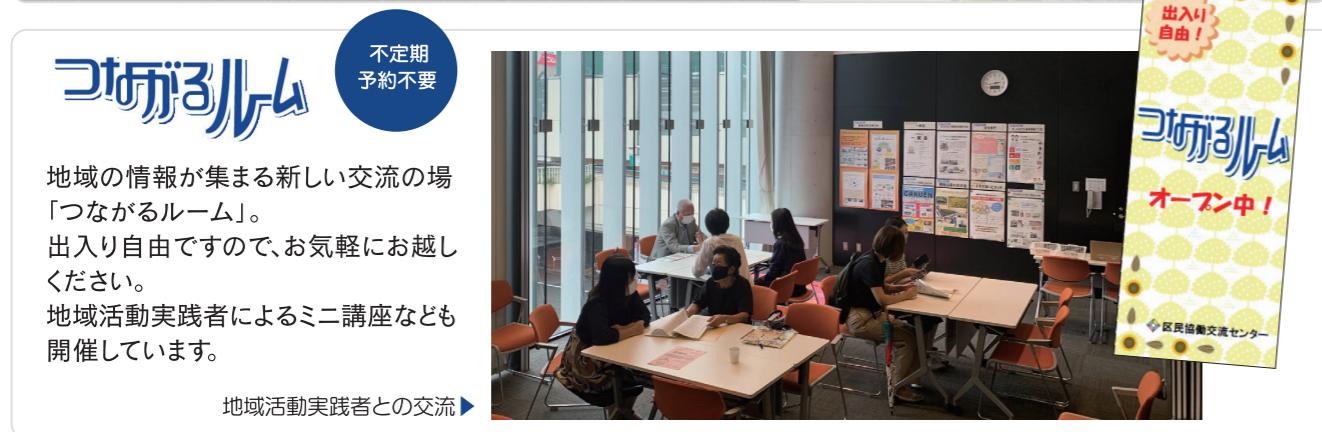
私の活動もカレッジでのつながりから広がりました。コロナ禍では難しいところもあると思ういますが、カレッジとともに学ぶ中で交流し、ぜひつながりを築いてください。



・・・ VII つながる窓口 区民協働交流センター ・・・



地域活動を支援する「つながる窓口」を区民協働交流センターに常設しています。区民や団体同士のつながりづくり、講座やイベント、専門家による相談などを行っています。

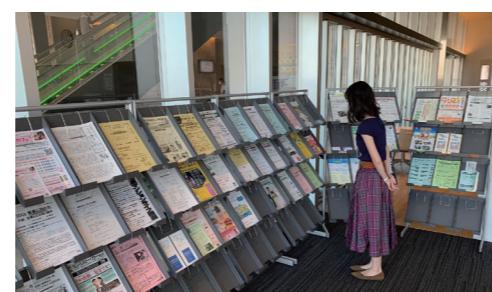


**つながるルーム**  
地域の情報が集まる新しい交流の場  
「つながるルーム」。  
出入り自由ですので、お気軽にお越しください。  
地域活動実践者によるミニ講座なども開催しています。

地域活動実践者との交流▶

■ 地域活動に関する相談・情報収集 通年・予約不要

- 地域での活動に関する相談、団体情報の提供や団体とのマッチングをサポート
- 地域で活動する団体のチラシ等を掲示
- 広報誌「ねりま地域活動ニュース」を毎月1回発行



■ 専門家による個別相談 申込制

NPO法人の立ち上げ・運営等に関する相談、団体運営の会計・税務に関する相談に専門家が応えます。

■ 講座やイベントの実施 申込制

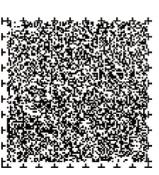
- 効率的な広報チラシの作り方などを学べる講座
- 地域で活動する団体のポスター展
- 地域活動の周知・団体交流を促進する「練馬つながるフェスタ」等のイベント など

区民協働交流センター

電話: 03-6757-2025 FAX: 03-6757-2026

住所: 練馬区練馬1-17-1 Coconeri(ココネリ)3階

開館日: 通年 ※年末年始(12/29~1/3)は休館 開館時間: 午前9時から午後10時まで



公式キャラクター

・・・ VIII つながるカレッジねりま ポータルサイト ・・・



<https://www.collegenerima.jp>

講座名	開催日	内容
つながるカレッジねりまの5分野6コースの講座および全受講生必須の共通講座	2020年12月15日	新たな福祉課題への対応『多文化共生』について学びます。福祉分野福祉コースのコマをオンライン配信します。
オンライン講座 テスト配信	2020年12月15日	チラシやポスターのデザイン自分で作ってみませんか？チラシ・ポスター制作講座
チラシ・ポスター制作講座のご案内	2020年12月1日	練馬区農の学校では、農業者の支え手となる「なりま農サポーター」を育成し、支え手を必要とする区内農業者とのマッチングを行っています。支え手として活

■ ポータルサイトの主な機能



講座検索  
受講申込

募集中の講座の検索、受講申込ができます



受講講座  
連絡メール

各講義の開催状況や日程変更などをお知らせします



受講履歴  
確認

自身の出席状況や過去の受講履歴を確認できます



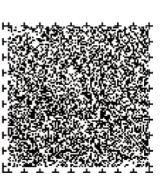
地域活動団体  
情報検索

区内で活動する地域団体のイベント情報などを閲覧できます



メールマガジン

地域活動に役立つ情報を配信します



〈ポータルサイト利用上の留意事項〉

利用登録時に入力いただいた個人情報は、つながるカレッジねりまの各種案内、運営に関する連絡やアンケートに利用することができます。また、講座運営事業者が講座の実施のために利用します。ご利用の際の通信料は本人負担となります。